

常任委員会便り第85号

第5回常任委員会報告

平成28年2月20日(土) 10:00~

日下部PTA会長挨拶

皆さん、おはようございます。お忙しい中ご出席いただきありがとうございます。

只今、受験の真最中です。3年生の保護者の皆さんは大変ですがもうひと踏ん張りです。一番辛いのは子どもたちだと思いますので、是非サポートと体調管理をしっかりと、万全の態勢でのぞませてあげてください。

来月には卒業式という大きなイベントがあります。寒い日が続く、インフルエンザやノロウイルス等が流行っておりますが、皆さんお子さんを含めて体調の管理を行って、よき春を迎えたいと思っております。

高橋校長先生挨拶

おはようございます。本日はご多用の中、PTA常任委員会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。本日、県新人駅伝大会の応援のため、本会議を欠席させていただきますことをお許してください。

さて、1年間皆様方には、日下部会長を中心として、白山中学校の子どもたちのためにご尽力をいただき誠にありがとうございました。PTA本部役員の皆様、PTA常任委員の皆様には、保護者の皆様並びに地域の方々と学校の架け橋になっていただき、白山中学校の学校運営に参画していただき、大変に助けられました。ありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

3年生は、千葉県公立後期入試、茨城県公立入試と続きます。全員の進路が決まるまで全職員で支援していきます。また、3月2日には3年生を送る会があります。1、2年生が3年生への「餞(はなむけ)」として頑張って準備しています。是非、皆様方にも見に来ていただければ嬉しいです。そして、卒業式。在校生と白山中職員で厳粛かつ感動的な式となるよう頑張ります。卒業する子どもたちとともに白山中PTAを卒業する皆様におかれましては、今迄のご支援・ご協力に感謝いたします。卒業後も白山中を温かく見守ってください。

来年度、平成28年度は、新1年生7クラス、新2年生7クラス(現在8クラスから1クラス減)、3年生は6クラス、特別支援学級2クラス、計22クラスでスタートする見通しです。

PTA本部役員の皆様には、4月のPTA総会までよろしく願いいたします。1年間、本当にありがとうございました。

議題

(1) 東葛駅伝・銚子駅伝大会報告(10月17日・1月10日)

10月17日に開催された東葛駅伝では71校中2位、1月10日の銚子駅伝では82校中6位と、共に入賞することができました。これも皆様の応援があつたのことに感謝しております。

(2) PTA研修会(11月7日)

今年もPTA会員の皆様の親睦を深めるため、研修会を開催いたしました。校長先生をはじめ、5名の先生方がご参加くださり、総勢22名で行って参りました。天候にも恵まれ、鋸山の絶景を眺め、美味しい海鮮料理と温泉を堪能し、楽しい一時を過ごすことができました。お忙しい中、ご参加いただきありがとうございました。

(3) 冬季学区内パトロール報告(12月12日)

常任委員のパトロール担当の方と本部役員で、我孫子駅北口・南口・白山中周辺に分かれて、パトロールしました。特に問題もなく無事に終了いたしました。ご協力いただいた方、年末のお忙しいなかありがとうございました。

(4) 制服・青ジャージリサイクル

来年度も部活動保護者会時（5月20日(金)）の実施を予定しております。3年生には、ご卒業前にお手紙を配布いたしますので、ご協力のほうよろしくお願ひいたします。今年度は、3月31日(金)の辞校式当日も回収ボックスを体育館入口に設置しておきますので、ご協力お願ひいたします。

(5) 今年度PTA活動報告

(6) 広報より

広報紙「はくさん」は現在110号の編集中です。発行予定日は3月10日です。よろしくお願ひします。

(7) 選考委員より

来年度の役員候補者の選考が無事内諾をいただき終了いたしました。この先は、4月のPTA総会で皆様から承認をいただいて、新年度のPTA本部役員として正式決定いたします。ご協力ありがとうございました。

(8) 今年度の活動に対する反省・感想（一部抜粋）

中学校PTAがとてもアットホームの雰囲気で見ました。リラックスしてできました。

学校との距離が縮まりました。先生方や他学年の母さん方と知り合えてよかったです。

進んで引き受けた訳ではありませんが、引き受けなければパトロール等の貴重な経験はできなかったと思います。

先生方の話が聞けて、先生の名前と顔が覚えられました。

生徒、先生、役員、地域の方々の皆が生きいき活動していることを肌で感じ、元気な気持ちになりました。

常任委員自体にはあまり仕事がなかったと思います。3年生は体育祭警備等、いろいろ免除していただきました。

選考委員は来年度の役員候補者に電話する仕事で緊張しましたが、丁寧に説明するとよく話を聞いていただけました。

卒業対策委員として、無事に役目を果たせるように頑張ります。

学校から

(1) 各学年近況報告

≪1学年≫ (永沢先生 1学年主任)

入学して1年間、中学校生活としてまず基本的な生活習慣を身に付けて、仲間とも馴れていくことが一番の課題だったと思います。約1年が経過して、友達とのコミュニケーションがなかなか上手くとれずに悩んだり、初めての到達度テストの計画の仕方や勉強の仕方でも悩んだりする生徒が多いようです。しかし、先日の最後の到達度テストでは、計画的に学習を進められたと、子どもたちから感想がありましたので、学習の習慣等も1年かけて身に付いたかと思います。

3学期は進級の準備として、1学年のまとめとなります。今は、重点目標である“あいさつ・提出物・時間を守る”ということに頑張っています。学習面では、5教科はもちろんのこと、いろいろな教科を頑張っています。特に、技術の物作りにはとても集中しており、皆、物をつくるのが好きなのだという感想を持ちました。体育では長距離に取り組み、タイムトライアルを競いあっています。寒い中、誰一人さぼることなく、皆一所懸命です。タイムを計る時には「頑張れ！」という仲間への声援がたくさん聞こえてくるので、仲間と仲良くやっているなと思いました。行事では、3年生を送る会と卒業式という学校全体の大きな行事が残っています。3年生を送る会では、一人ひとりが役割分担を楽しく、3年生への感謝の気持ちを込めて取り組んでいます。また、4月には後輩が入学してくるので、先輩としての気持ちで様々な活動に取り組み、頑張っているところです。

初めての学年主任として、至らぬ点が多々あったと思いますが、保護者の皆様のご協力とご理解をいただきながら、我々職員、教育活動に取り組むことができました。感謝しております。1年間ありがとうございました。

≪2学年≫ (富川先生 2学年副主任)

9月からテストや合唱コンクール、先日は百人一首大会もありましたが、2年生を一言で表すなら、とても行事に燃える子どもたちです。去年に比べて“学年として頑張ろう”という気持ちが高まり、チームワークも、愛校心も育ってきたかなと感じています。

今、子どもたちは3年生を送る会へ向けて頑張っています。「3送会でどんなふうに着よう?」、「1年生にやりたかったことを取られて悔しい…」等、3年生の様な緊張感はなく、テストが終わり嬉しくて晴々した思いで

やっています。また、修学旅行の勉強も始まり、先日はいろいろな講座を受けて、自分の希望する勉強を選んだようです。林間学校のように、ワクワク楽しい修学旅行になるのではないかと思います。

もう一つ、学年全体で拡大委員会を行い、クラスを越えていろいろな問題等を解決しようと取り組んでおります。教員生活の中でこのような活動経験は何度もありますが、今回は本当に自分達で課題を解決できるのだなと実感しております。「こういうことをやろう」と決めたら、実際に皆で取り組み、一つ一つ解決できているのです。この経験を大切にしたいと思います。学年委員長の「今は2年3学期ではなく、3年0学期のつもりで頑張ろう！これから最高学年になって、先輩達が築いたものを壊さずに、そして自分達が最高と言われるように目指していこう」という素晴らしい言葉の通り、これからも頑張ってお参りますので、宜しくお願いします。

《3学年》 (萩原先生 3学年主任)

1年間ありがとうございました。今まさに受験の真最中です。学年約250名中、約150名の進路先が決定しています。22日(月)の公立後期の出願が約90名、出願済みの茨城公立が約10名で、約100名が第一希望の高校進学へ向けて頑張っております。

9月末の第4回常任委員会の時、「3年生は部活を引退し、これからは体育祭、合唱コンクール等の行事を頑張ります。いい結果が出るとお思いますので、期待しててください」と話したと思いますが、本当によく頑張りました！先輩達がやってきた白山中の体育祭や合唱コンクールをしっかり引き継いだと思います。そして、そこで培った集団で頑張る“団結力”を活かしながら、各学級、学年が進路に向けて頑張っております。

先日の公立前期では合格率44%で、半分以上の生徒が残念な結果となりました。それまでの私立受験では、「結構イケたんじゃん」という雰囲気でしたが、初めて「こんなに落ちるの？」と実感したようです。受かった子はハッピーですが、落ちた子は相当なショックを受けていると思います。でも、それが現実です。その厳しい現実を、まさに“団結力”で乗り越えようと頑張っているところです。

個人個人は、少々の不満や様々な考え方があるかと思いますが、今年1年、また白山中での3年間で、とてもよい中学校生活を送れたのではないかと思います。子どもたちも本当によく頑張りましたし、職員も本当によい職場でよい仕事ができていると思います。それは地域やご家庭が白山中を支え、こんなに白山中を想ってくれている地域だからこそ、できる活動なのだと思います。

3学年もそうですが、これからは若手の職員が多くなってきます。先生方と言っても、教員になりたての新人です。どうぞ、今後も地域として若手の職員と一緒に育てていくつもりで、そしてその教員が子どもたちを育てていけるように、白山中を見守っていただきたいと思います。よろしくお祈りします。

最後に、フィナーレが飾れるように頑張っていきたいと思います。

(2) 学校からの報告

《溝井先生 生活指導》

常任委員会にずっと参加させていただいて、とにかくPTAの方々とお会いできることが楽しみでした。パトロール等にもたくさんの方が参加し、コミュニケーションをとる貴重な場になったと思います。いろいろな学年の保護者の方々とお話することで、様々な見方ができてよかったと思います。

生徒指導としては、基本的な生活習慣とネット関係に重点を置いています。他校の生徒指導の先生方と集まると、常に議題の中心はネット関係のことで、そこで、柏の教育委員会にお願いしてネットモラルに関する全校集会を行ったり、自分が保護者会でネット関係の話をさせていただいたりしました。基本的なスタンスは、「始めたきっかけが家庭で購入したスマートフォンですから、責任は家庭です」、「自分で始めたのだから、先生助けてというのは話が違います」と子どもたちに話しています。学校内で起きた直接的な事柄の相談はあるのですが、幸いなことに、ネットによるバーチャルな世界の事柄の訴えは殆どなく、起きてないとは言いきれませんが、とても少ない印象です。これは保護者の方々のご理解のおかげと申しておりますので、今後も続けていっていただければと思います。

《山本先生 教務主任》

4月から赴任していきなり教務主任ということで、戸惑うよりも「やるしかない！」と、基本的には攻めの姿勢で、いろいろなことを見直しながらいいい方向でやっていけるよう、常に取り組んできたつもりです。

最近、いろいろなニュースを観ていると、例えば「入社式に保護者が参列」とか、「インフルエンザにかかったこ

とが一因で入試につまずき親子が心中”とか、昔では考えられなかったことが起きています。また、年齢問わず親子関係での事件や、夫婦間や若い男女関係のもつれによる事件等もあり、「日本は本当に大丈夫かな？」と思ってしまう。そこには何があるかという、コミュニケーション能力が少し不足していると感じます。今、教育界では「せつかく学力をつけても、コミュニケーションをとれる力をつけていないと、それを活かすきれない」と叫ばれているところです。教員研修の中心は、「授業中でも必ず、ある課題について、皆で話し合いを持つ時間を作ろう」という方向に動いています。

今月15日(土)に小中一貫の日があり、白山中学区の小学6年生の子どもたちが白山中に来校しました。午前中に白山中の紹介を聞き、部活動を見学しました。その時に、小学校の先生方も70～80人ほど来ていただいて、学校の施設を全部見ていかれました。そして昨日の教務主任研修で、学区の小学校の教務主任と会った際、「小学校の先生方は、中学校は敷居が高いと感じていたのですが、小中一貫の日に中学校を知ることができ、いい機会でした」と伺いました。今後、小学校は中学校へ、中学校は高校へどういうふうに上げていき、最終的には生きる力をどういうふうに身につければいいのかと、順に繋がっていくのかなと思います。我孫子市では、小中一貫教育の平成31年完全実施に向けて、いろいろな企画をたてています。保護者の方々にもそういう視点を持っていただくことで、中高一貫、PTA一貫という感じで、地域を含めて皆で子どもを育てるという気持ちのスタートになるかと思えます。よろしくお願いいたします。

さて、萩原先生の方から受験について話がありましたが、最近の受験は面接重視です。学力があっても面接できちんと答えられないと合格へは繋がりません。キーワードは、「あなたは何を考えるの?」「どういうふうにこのことを考えるの?」ということです。ご家庭でもお子さんとの会話の中で「あなたはどうか考えたの?」と一言聞いてもらい、答えが出てきた時に「それはいい考え方だね」と共感したり、「もう少しこう考えるといいかもよ」とアドバイスをしたりしていただけるといいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。1年間ありがとうございました。

《河野教頭先生》

1年間ありがとうございました。皆様にご協力いただきながら、たくさんの行事をこなしていただくことができました。ご協力ありがとうございました。

学校評価アンケートの集計が約95%終わりました。結果は皆様に配布し、HPにも掲載されます。簡単な特徴としては、「白山中に楽しく通学している」という質問や、「行事に意欲的に参加している」という質問に対して、子どもも保護者も共に90%以上の高い数字が出てきております。そのことから、白山中学校は、子どもが楽しく通えている学校であり、保護者の方も子どもは楽しく通えていると実感している学校であることがよく分かりました。他の質問には、いろいろと忌憚のないご意見がありましたので、それら一つ一つを来年度の課題とさせていただきます。また全体の結果からは、行事や部活動、学習等で皆様の力をお借りしながら、なんとか1年いい学校運営ができたということが読み取れます。ご協力いただき、本当にありがとうございました。

萩原先生の話の通り、これから数年は教員が入れ替わる時期で、若い先生が増えていきます。若手の教員がきちんと伸びるためには、保護者の方々の叱咤激励や率直で、時に厳しいご意見が必要で、保護者の皆様が教員を育てると思います。子どもが教員を育てるところもあります。もちろん教員が子どもを育てるのが本来の仕事ですが、保護者・子ども・教員がお互いに上手く育て合うことが、更に素晴らしい学校にしていく、学校作りの根幹になるのかと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

また、キャリア教育というものが中学にはあります。進路指導はどのような高校に進学させるかという具体的な指導ですが、キャリア教育は将来どのような職業について頑張っていくかという勤労に対する意識を養い、将来の自分がどういう人生を過ごしていくか考えるという教育です。市では是非、キャリア教育に地域の力を活用してこうという考えです。そこで来年度のキャリア教育では、人生の先輩として「こういう生き方がある」という生き方のデザインを、いろいろな方々からお話いただく機会を作ろうと思っています。特に1、2年生の保護者の方々に「こういう生き方はどう?」という提案をしていただけるよう、ご協力をお願いします。

そして最後に、卒業式という大きな行事が残っています。“終わりよければ全てよし”や“有終の美を飾る”という言葉がありますように、素晴らしい卒業式ができますよう、ご協力をよろしくお願いいたします。1年間ありがとうございました。